

自然と調和したまちづくり
858万4千円

- ふるさとまつり……………535万円
▶土佐のまほろば祭り・龍馬祭り・土佐日記門出のまつり補助
- 友好都市推進協議会補助……………100万円
- 総合計画策定……………223万円

健康福祉都市づくり
54億2833万3千円

- 児童福祉対策……………14億9015万円
▶久礼田保育所建設
▶各種手当
- 身体障害者福祉対策……………2億8540万円
- 精神薄弱者福祉対策……………1億7736万円
- 老人福祉対策……………4億9691万円
▶デイサービスセンター・在宅介護支援センター運営委託
▶ショートステイ運営委託
▶老人クラブ助成
▶在宅介護者手当
- 老人保健特別会計繰り出し……………3億4028万円
- 同和対策……………22億4444万円
- 保健衛生……………1億4272万円
▶健康ライフ事業
▶保健事業
▶各種健診・予防接種
- 国保特別会計繰り出し……………2億9104万円

活力ある産業都市づくり
7億5156万3千円

- 農業基盤整備……………5億5936万円
▶ほ場整備
▶オフィスパーク水路改修
▶農道台帳作成業務委託
▶農道・水路など維持管理
- 農業振興……………4957万円
- 林業振興……………857万円
- 商工観光の振興……………1億3404万円
▶南国市商工会貸し付け
▶工業振興資金貸し付け金
▶(株)道の駅南国出資金
▶才谷龍馬公園整備

生涯学習の推進と文化都市づくり
11億5532万9千円

- 学校施設整備……………4億8390万円
- 小・中学校教育振興……………8002万円
- 同和教育振興……………5307万円
- 公民館活動……………2004万円
- 生涯学習フェスティバル・生涯学習まちづくり……………305万円
- からくり人形復元……………100万円
- 文化財保護……………1億3285万円
- 図書館整備……………1466万円
- 社会体育施設整備……………1538万円
- 南部総合運動場建設……………1億7781万円
- 瓶岩体育館建設……………1億7187万円
- 国体準備対策……………195万円

ちょっと付け足し

南国市の予算には上で紹介した一般会計予算のほか、下の通り、特定の事業のためだけに割り振られた特別会計予算、独自に会計を行う水道局の企業会計予算があります。



- 特別会計 112億6581万9千円
- 下水道事業……………12億665万5千円
- 老人保健事業……………55億4438万3千円
- 住宅新築等貸し付け事業……………2億4757万8千円
- 土地取得事業……………3726万3千円
- 農業集落排水事業……………3億5078万5千円
- 市有林事業……………167万8千円
- 国民健康保険……………38億7747万7千円

（企業会計（水道事業）） 8億8450万円

いよいよ、いろんな計画が実行に移され始め、これから南国市は変わっていくように思っています。



おもしろいものモンちゃんが見る
こう使われる

平成7年度
南国市の予算

まず総額ですが、ごろんの通り、

六年度と比べて九・三割増えています。

《6年度》
171億9,534万9,000円

《7年度》
187億9,655万6,000円

三月十日から二十四日まで開かれた南国市議会定例会で決まった、平成7年度一般会計当初予算を見ていきたいと思えます。

ここからは主な施策を見よう

1 快適な生活環境都市づくり
31億1781万2千円

- 下水道整備……………9億80万円
- 水道事業整備……………2億7252万円
- 清掃対策整備……………12億5770万円
▶屎処理場建設費
▶合併処理浄化槽設置整備補助
▶不燃物（ビン）選別処理 ほか
- 消防施設整備……………7793万円
- 改良住宅改善……………1億2485万円
- ホープ計画策定……………599万円
- 都市公園維持管理……………2408万円
- 市街地再開発……………6950万円
- 空港対策……………3599万円

これは一月に起工式が行われた、オフィスパーク事業に関連した事業の予算が増えていること、また、健康福祉のための予算が増えているからなんだ。健康文化都市南国らしいね。

オフィスパークが完成すると、約二千人が働けるんだ。そうなるにぎわうし、何より、税金も増え、南国市がうるおるんだ。

オフィスパーク完成予想図

発展の基礎づくり
16億8743万1千円

- 道路橋梁の整備……………8億4089万円
▶オフィスパーク市道整備
▶道路台帳補正業務委託 ほか
- 河川整備……………2億7845万円
- 都市計画整備……………5億6808万円
▶オフィスパーク調整池公園
▶吾岡山文化の森公園 ほか



特集



岩村ほ場整備完了区域

健康文化のまちづくり
健康文化都市の取り組みについて
市の特定の課の事業と

地を管理する組織の整備など、分業化、協業化できる生産体制の整備を進める。

あるいは、中学校区に分散して、責任者を置いて対応するかなど、いろんなケースを想定して対応策を検討する。

副知事とともに協議会の役員と率直な話し合いの場を持った。次第にわかまりは出てきている。空港拡張は進めざるべきであるという基本に立って、いろいろ難しい問題

者意向、方針を受けて関係機関と協議しながら、官民一体となって取り組む。

建設の進む新し尿処理場

金蛇水神社の「花まつり」

5月、東北岩沼にも本格的な春の到来です。岩沼の春を彩る風物詩として、金蛇水神社の「花まつり」があります。

花まつりは毎年5月10日から25日まで行われます。面積1,000坪のぼたん園は大きなつつじに囲まれ、100余種、1,300株の大輪のぼたんが次々と咲き誇り、観光客の目を楽しませてくれます。

また、境内には樹齢300年といわれる「九竜の藤」があり、茶色に垂れた藤の下をくぐって観光客は参拝に向かいます。ぼたんやつつじ、藤の花を見ようと、花まつり期間中は20万人近い観光客が訪れます。沿道では植木や竹細工などを売る露天が立ち並び、まつりを盛り上げます。

「花と稲荷と空港のあるまち」をキャッチフレーズにより一層の観光客の誘致を図るために、経事業費約10億円を投じ、金蛇水神社の周辺に4.8haの「フラワーランド」の整備を計画。平成10年のオープンを目指して工事が進んでいます。

工業振興資金貸し付け制度

南国市は平成7年度、市内の工業振興を目的に融資制度を創設しました。この制度は、阪神大震災の被害を受けた事が原因とみなされる不況事業主にも適用されます。この制度は市内の金融機関が協同して財源を拡大し低利で貸し付けることにあり、貸し付け総額は1億3,000万円(市の財源は5,000万円)です。市税に滞納がないことや従業員が30人以下などの条件はありますが、円高や災害で苦境にある事業主には意味ある制度です。 ※お申し込みは市商工会事務所(☎3073)まで。なお、震災対策貸し付けは6月30日までです。【商工水産課】



いる。月二回実施にあたって指導内容・方法の充実改善などに努める。また、親子のふれあいにより、豊かな生活体験が得られるようご家庭でも協力していただきたい。

地域の公民館活動、PTAの協力、また、学校との取り組みなどを実施している。

3月定例市議会

一般質問

防災・空港などについて論議

三月定例市議会一般質問は、三月十四日から十六日までの三日間行われ、山本(昇)、竹内、福田、今西、高島、中村、山本(弘)、池本、田島の各議員が質問に立ち、市長の政治姿勢や行政一般について執行部の考えをたずねました。主な内容は次の通りです。

阪神大震災の教訓を生かせるか

南国市の防災対策、今後の取り組みはどうか。

突然として起きる地震への対応は、絶えず非常事態を想定して対応しなければならぬと考える。

緊急課題として南国市の地形状況に合った体制について考えている。行政の主管においても責任者を明確にして充実していく。見直しは七年度前半で一応の作業を完了したい。

経済的な影響は、農業や商工業にもあらわれ、ウナギなどの出荷に悪影響がでている。災害発生後の対応として従来どおり、市の職員を全て一か所に集合させて対応するか

あるいは、中学校区に分散して、責任者を置いて対応するかなど、いろんなケースを想定して対応策を検討する。

自衛隊との連携は日ごろから県市の間で緊密な災害訓練を行う必要がある。防災計画の立案にも参加願えないか検討している。

防災意識の普及、啓発については、消防署、消防団を中心とする防災計画に加えて、地震防災組織といったものも必要ではないか。市民向けのマニュアル紙などを配布する

ことも検討する。

学校での災害指導に一段と力をいれて、平素の指導、災害発生時の避難訓練、緊急連絡網の見直しなど教育の上で徹底したい。

副知事とともに協議会の役員と率直な話し合いの場を持った。次第にわかまりは出てきている。空港拡張は進めざるべきであるという基本に立って、いろいろ難しい問題

もめるが、引き続き精力的に協議していくという、一定の理解を得たと受け止めている。

五年度に補助事業によりそれまでの計画を見直し実現の可能性を追求した事業計画を作成、具体化を図るため県や他の関係機関に要請した。今後は準備組合の主導によって、基本計画をたたき台に、権利

者意向、方針を受けて関係機関と協議しながら、官民一体となって取り組む。

し尿処理場関連の周辺整備事業について

南部運動施設を五年度以降三年計画で実施。グラウンド整備は八年度に実施する。

農地集積による大規模農家育成と兼業農家のかかわりについては、地域農業と農村社会を支えていくうえで、兼業農家の果たす役割は重要だ。高齢農家や小規模農家が、担い手農家と一緒に地帯の農業を振興していけるよう集落営農の取り組みを進める。具体的には農協、普及センターなどの協力を得ながら農業機械の共同利用や受委託組織の整備、耕作放棄された農

建設の進む新し尿処理場